

2. 流域治水プロジェクトの拡充について

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域
 [県・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、
 ため池等の治水利用

流水の貯留 河川区域

[国・県・市・利水者]
 治水ダム建設・再生、
 利水ダム等において貯留水を
 事前に放流し洪水調節に活用
 [国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水
 機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、
 雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した
 堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

**リスクの低いエリアへ誘導／
住まい方の工夫**
 [県・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、
 不動産取引時の水害リスク情報提供、
 金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす 氾濫域
 [国・県・市]
 二線堤の整備、
 自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、
 多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、
 リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、
 BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報
 提供、金融商品を通じた浸水対
 策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの
 体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

構成員の拡充

- ✓ 河川の流域のあらゆる関係者が集まり流域治水を推進

【構成員の拡充】

- 国の機関
- 流域の各府県、市町村
- 民間企業、住民参画 など

各機関のプロジェクトの反映

- ✓ 構成機関の取り組みをプロジェクトに反映
- ✓ プロジェクトの拡充があれば、随時更新し、流域全体で安全度を向上

【流域治水プロジェクトの今後の取組方針】

- 河川整備の充実(河川整備計画の変更など)
- 他の協議会構成員の計画の充実

協議会立ち上げ時点から
構成員を随時追加

R3.8 淀川水系河川整備計画の変更
各府県、市町村の計画拡充

流域治水プロジェクトのさらなる充実

- グリーンインフラの取組
- 水害リスク情報の充実
- 取組状況の見える化

流域治水プロジェクトのさらなる推進を流域全体で推進

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

国土形成計画（平成27年8月閣議決定）

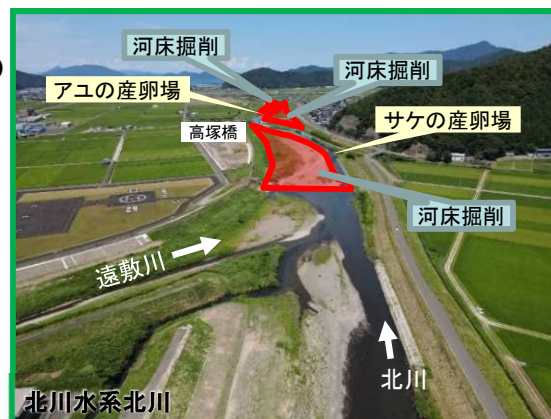
● 自然環境の保全・復元などの自然再生



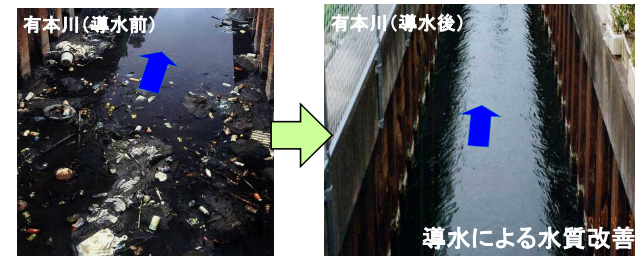
● 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成



● 治水対策における多自然川づくり

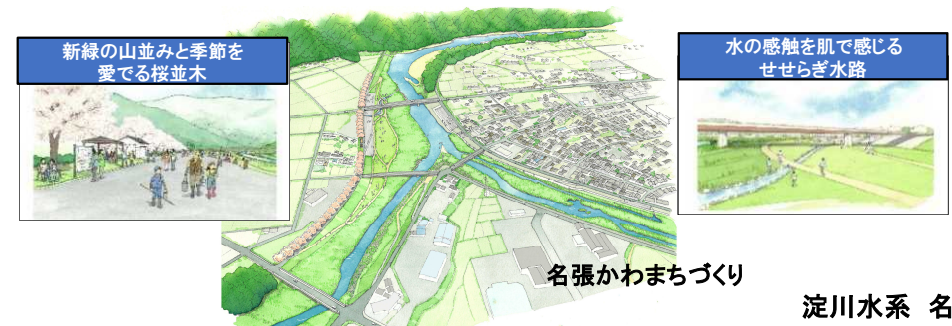


● 健全な水循環系の回復



紀の川水系 内川

● 魅力ある水辺空間・賑わい創出



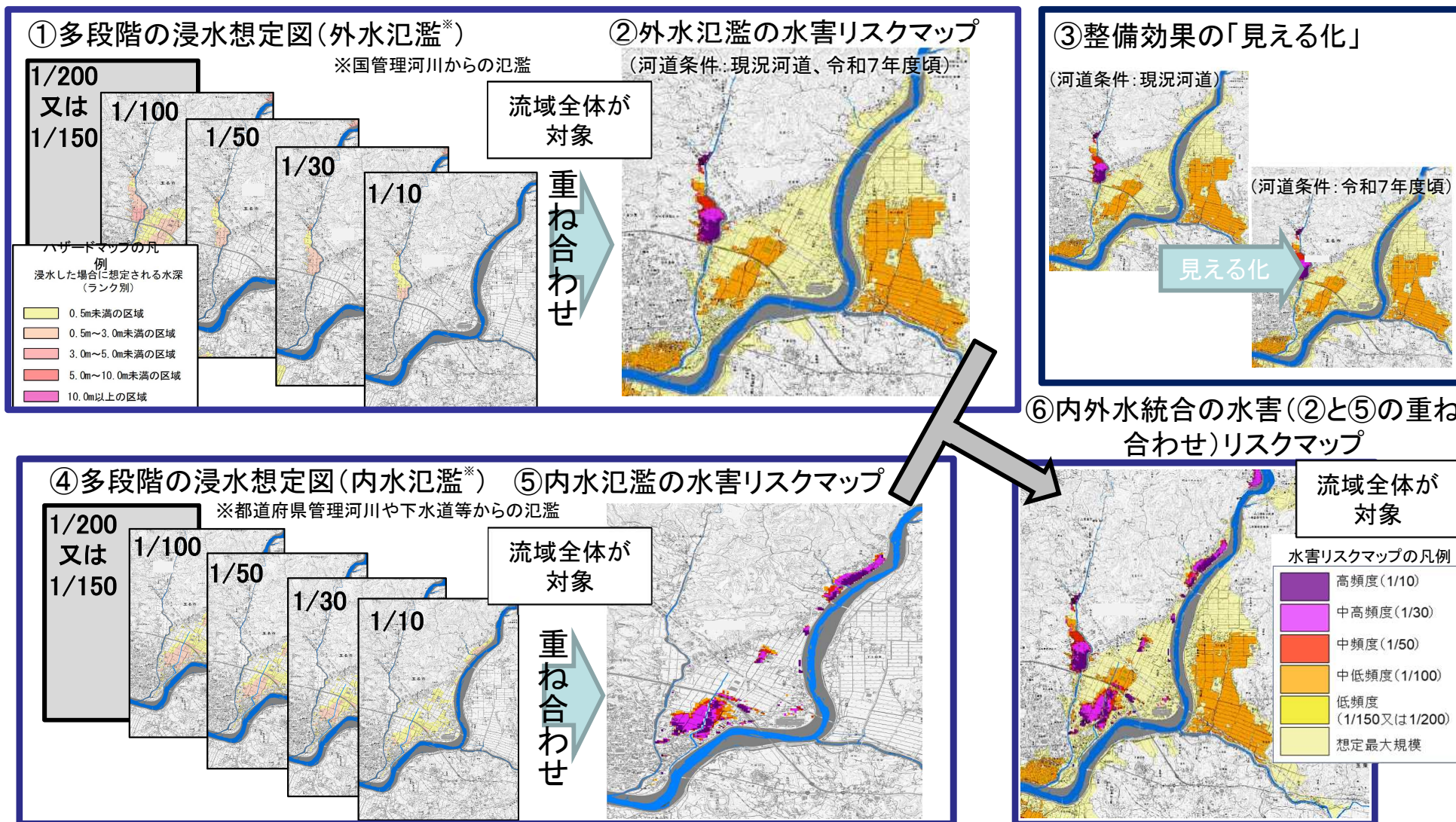
淀川水系 名張川

● 自然環境が有する多様な機能活用の取組



水害リスク情報の充実に向け、国管理区間において、先行的に水害リスク情報について検討中。

水害リスク情報の充実 整理イメージ



「流域治水」における主要な各取組に係る進捗状況を見える化し、協議会における取組状況をPR。

イメージ

〇〇川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～〇〇～



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

写真・イメージ

被害対象を減少させるための対策

写真・イメージ

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

写真・イメージ

	指標	内容	とりまとめ (案)
1	戦後最大洪水等に対応した河川の整備	一級河川における戦後最大洪水等に対応するための築堤等の河川改修を実施する。	一級河川における戦後最大洪水等に対応した河川（国直轄区間）の整備率（概ね5年後）：〇〇%
2	農地・農業用施設の活用	農地・農業用施設を活用し、雨水や氾濫水を貯留し、又は事前に排水し、被害軽減を図る。	〇〇川水系の流域自治体内で農地・農業用施設の活用に取り組んでいる市町村数：〇〇市町村
3	流出抑制対策の実施	校庭貯留や地下貯留などの雨水貯留浸透施設の整備等により、流出抑制対策に取り組む。	〇〇川水系の流域自治体内における雨水貯留浸透施設等の整備数：〇〇施設
4	山地の保水機能向上、土砂・流木災害対策	治山対策・森林整備の実施により、森林が有する浸透・保水機能等の維持・向上を図る。	〇〇川水系流域で実施される治山対策等の実施個所数：〇〇箇所
		土砂・流木災害対策の実施のため、砂防堰堤や地すべり防止施設等の砂防施設整備を実施する。	〇〇川水系流域で実施される砂防施設の整備により、保全される基礎的な公共インフラ施設数：〇〇施設
5	立地適正化計画における防災指針の作成	水災害リスクを軽減されるため、よりリスクの低い区域への移住、都市機能の誘導や住まい方の工夫等による居住地の安全性強化に取り組む。	〇〇川水系の流域自治体内で立地適正化計画における防災指針の作成に取り組んでいる市町村数：〇〇市町村
6	避難のためのハザード情報の整備	水害リスク情報の空白域を解消するため、中小河川等の浸水想定区域の指定を促進する。	〇〇川水系の中小河川等において洪水浸水想定区域を指定した河川数：〇〇河川
			〇〇川水系の流域において最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成した団体数：〇〇団体
7	高齢者等避難の実効性確保	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を促進するなど、市町村と連携して被害の軽減を図る。	〇〇川水系の流域自治体内で避難確保計画を作成し訓練を実施している施設数： 計画作成済み：〇〇施設 うち、訓練の実施：〇〇施設
		避難行動要支援者を対象とした個別避難計画の作成を促進するなど、高齢者の避難の実効性の確保を図る。	〇〇川水系の流域自治体内で個別避難計画（全部作成又は一部作成）を作成している市町村数：〇〇市町村

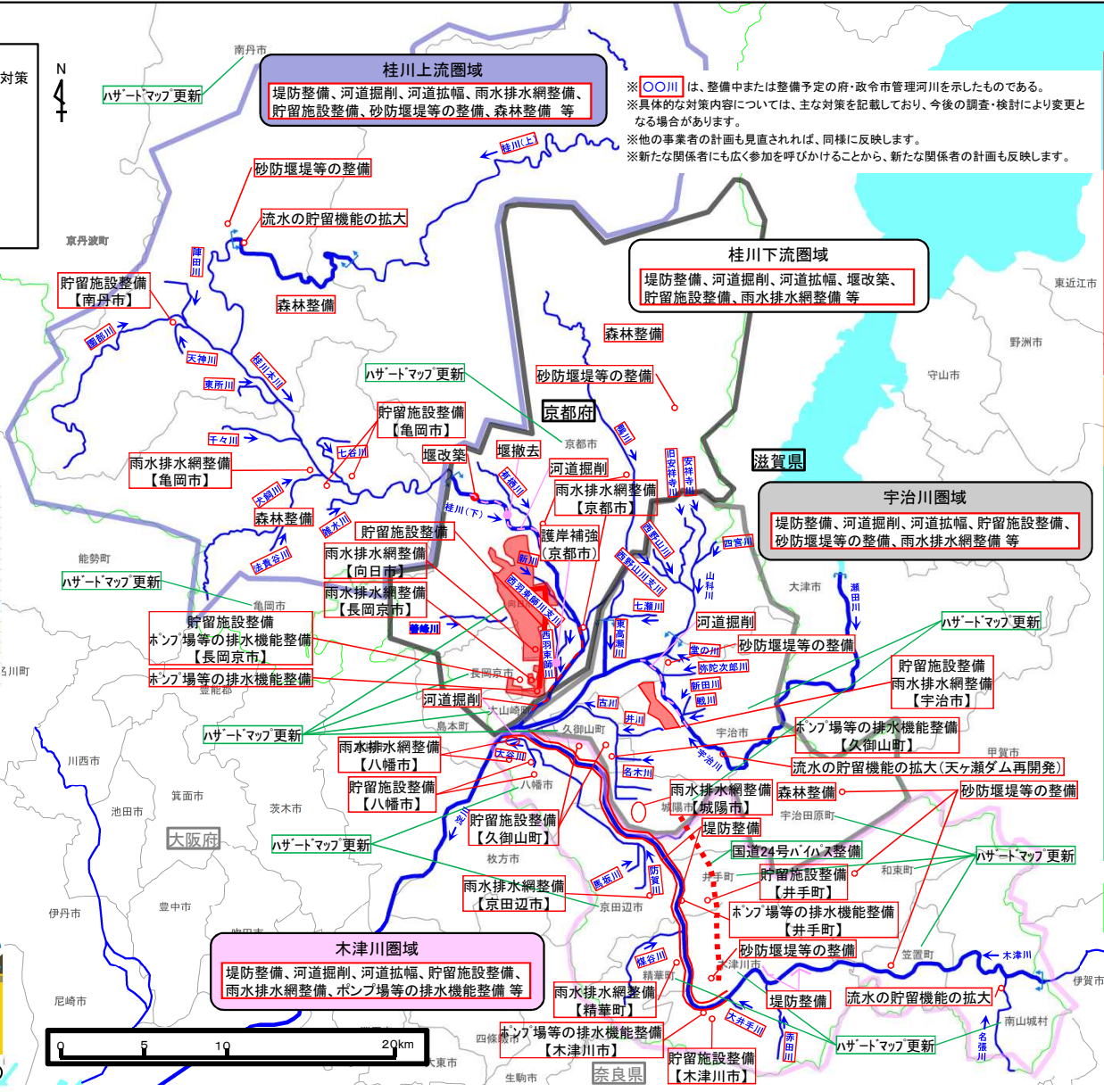
淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

（案）

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

- 京都府域では、宇治川、木津川、桂川が1箇所で合流する三川合流点が存在。
- 三川合流点の上流では、合流点の高い水位によるバックウォーター現象から、各河川において、水位が高く洪水が流れにくい状態となるため、内水河川からの排水が困難となり、近年洪水でも内水被害が発生。
- このため、三川合流点への流量の低減や合流時間を分散させ、バックウォーター現象を抑制する対策等を実施する。

- 凡例
- 大臣管理区間
 - 堤防整備
 - 河道掘削
 - 堰改築、堰撤去
 - 県境
 - 市町村境
 - 貯留施設整備
 - 雨水排水網整備等
 - 道路整備
 - 拡充する治水対策



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・堤防整備、河道掘削、堰改築、堰撤去、護岸補強
 - ・砂防堰堤等の整備
 - ・雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
 - ・天ヶ瀬ダム再開発
 - ・流水の貯留機能の拡大
 - ・堆積土砂撤去
 - ・河川管理施設等の老朽化対策
 - ・河道内樹木の伐採
 - ・森林整備
 - ・ため池等の整備、貯留施設整備
 - ・開発行為に伴う調整池の設置
 - ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 等

- 被害対象を減少させるための対策**
 - ・立地適正化計画策定
 - ・条例等に基づき計画している安全なまちづくり

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ・地区タイムラインの活用
 - ・広域避難計画の策定
 - ・要配慮者避難確保計画等の作成、支援
 - ・ハザードマップ更新
 - ・マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
 - ・まるごとまちごとハザードマップの整備
 - ・分かりやすい防災気象情報の提供
 - ・VR・AR等を用いた情報発信
 - ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
 - ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
 - ・「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
 - ・災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



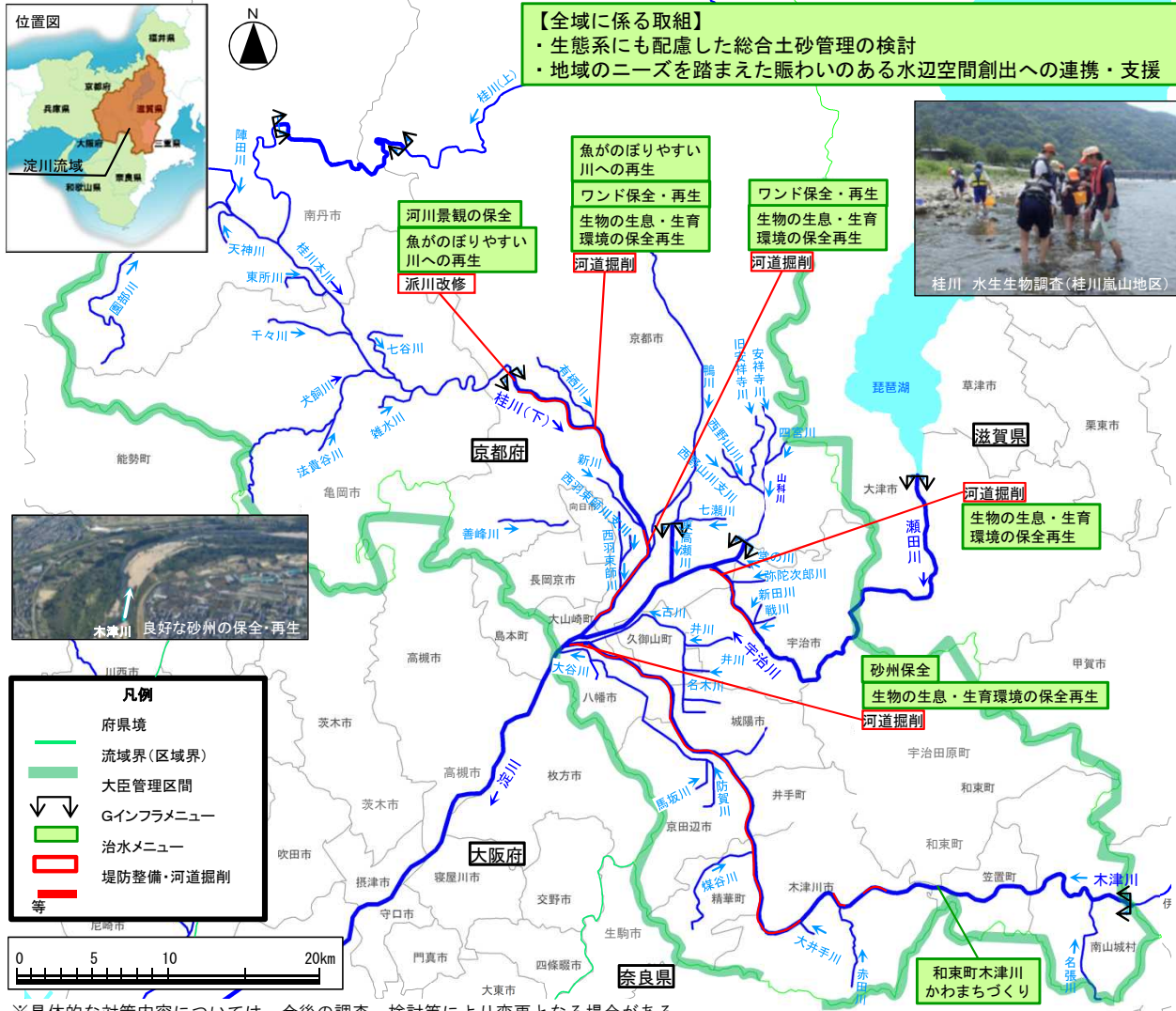
淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(京都府域)分会【グリーンインフラ】(案)

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

(案)

●グリーンインフラの取り組み 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』

- 宇治川のヨシ原や礫床、木津川の砂州河原に点在するたまりや瀬と淵、桂川の流水域と湛水域が連続する環境やワンドなどの環境に応じて、オオヨシキリをはじめとする鳥類やナカセコカワニナ、タナゴ類やヨドゼザラなどの魚介類といった、次世代に引き継ぐべき多様な生態系が存在する。
- 水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後概ね20年間でヨドゼザラの模式産地であるワンドや魚がのぼりやすい川を整備するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●治水対策における多自然川づくり
生物の生息・生育環境の保全再生、ワンド保全・再生、魚がのぼりやすい川への再生、砂州保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出
和東町木津川かわまちづくり、河川景観の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全
- ・河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
- ・小中学校における河川環境学習の実施
- ・住民団体と連携した水生生物調査の実施



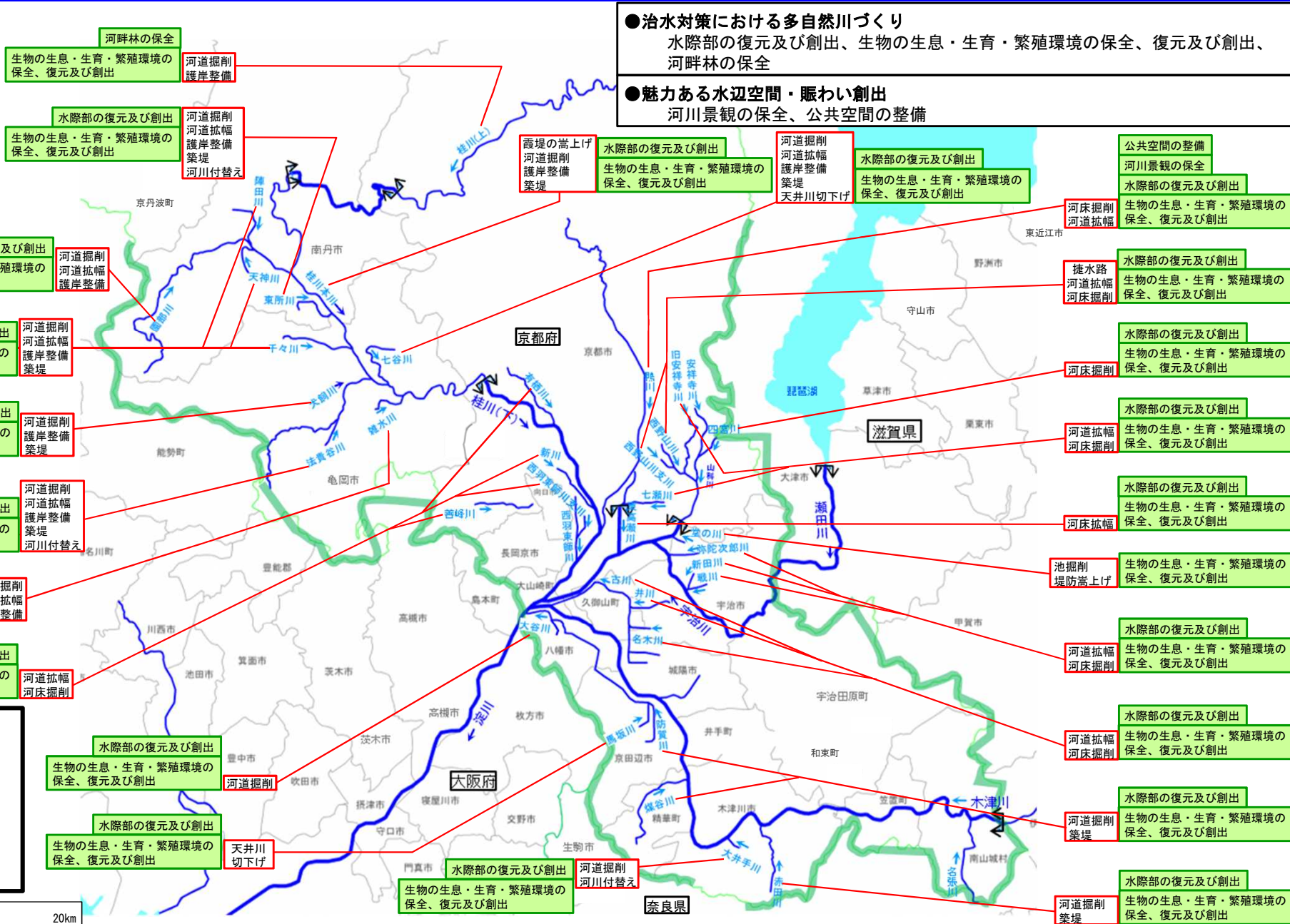
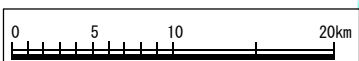
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト【淀川(京都府域)分会位置図】 京都府事業(案)

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～



- 凡例**
- 府県境
 - 流域界(区域界)
 - 大臣管理区間
 - Gインフラメニュー
 - 治水メニュー
 - 堤防整備・河道掘削等



淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】(案)

～みず・ひと^よける古都を支える流域対策の推進～

- 淀川水系(京都府域)の宇治川、木津川、桂川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰しつつ国、府、市町村が一体となって「流域治水」を推進する。雨の降り方次第で、三河川が同時にピーク流量を迎えることもあり、その際は三川合流点流れにくく、各支川の水位上昇を助長する。このため、淀川水系中流域では三川合流点への到達流量を低減、水位低下を図る流域治水対策が重要であり、以下の手順にて推進する。
 - 【短期】桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、天ヶ瀬ダム再開発及び川上ダムを完成させる。
 - 【中期】引き続き桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、桂川の堰撤去と木津川の無堤区間の堤防整備に着手する。
 - 【長期】河川整備計画で目標としている洪水を安全に流下させるため、引き続き河道掘削等を実施し、流域全体の安全度の向上を図る。
- あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水排水網、貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、堰撤去	淀川河川事務所 京都府 京都市	宇治川・桂川・木津川 河道掘削完了 (淀川河川事務所)		
	流水の貯留機能の拡大	淀川ダム統合管理事務所 琵琶湖河川事務所 大戸川ダム工事事務所 水資源機構	天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所)		
	雨水排水網整備 貯留施設整備 (下水道浸水対策事業含む) 等	京都府 久御山町、城陽市、向日市、亀岡市、大山崎町、京都市、宇治市、八幡市、井手町、京田辺市 等	川上ダム完成 (水資源機構)	【貯留施設整備】 遊水機能を有した公園整備 (亀岡市)	【雨水排水網整備】 排水路整備事業 (京田辺市)
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取り組み(立地適正化計画策定)	長岡京市 等	【貯留施設整備】 雨水調整池の整備 (久御山町)	【雨水排水網整備】 下水道床上浸水対策事業 (京都市)	【貯留施設整備】 雨水貯留施設設置 (城陽市)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ作成・更新 まるごとまちごとハザードマップの整備、避難体制等の強化 等	気象庁、環境省 京都府、京都市、 木津川市、京田辺市、精華町、宇治田原町、和束町、笠置町、南山城村 等	避難所標識板の設置 (木津川市)	局地的豪雨探知システムの活用促進と ゲリラ豪雨対策アクションプランの策定 (環境省)	
	災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備	京都国道事務所	要配慮者避難確保計画の策定 (京田辺市)		

気候変動
を踏まえた
更なる対策
を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】(案)

～みず・ひと^よる古都を支える流域対策の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
グリーンインフラ の取組	生物の生息・生育環境の保全再生	近畿地方整備局 京都府	生物の生息・生育環境の保全再生		
	ワンド保全・再生	近畿地方整備局	ワンド保全・再生		
	魚がのぼりやすい川への再生	近畿地方整備局	魚がのぼりやすい川への再生		
	砂州保全	近畿地方整備局	砂州保全		
	和束町木津川かわまちづくり	近畿地方整備局	和束町木津川かわまちづくり		
	公共空間の整備	京都府	公共空間の整備		
	河川景観の保全	近畿地方整備局 京都府	河川景観の保全		
	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全	近畿地方整備局	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全		
	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携	近畿地方整備局	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携		
	小中学校における河川環境学習の実施	近畿地方整備局 京都府	小中学校における河川環境学習の実施		
	住民団体と連携した水生生物調査の実施	近畿地方整備局 京都府	住民団体と連携した水生生物調査の実施		
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。					

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

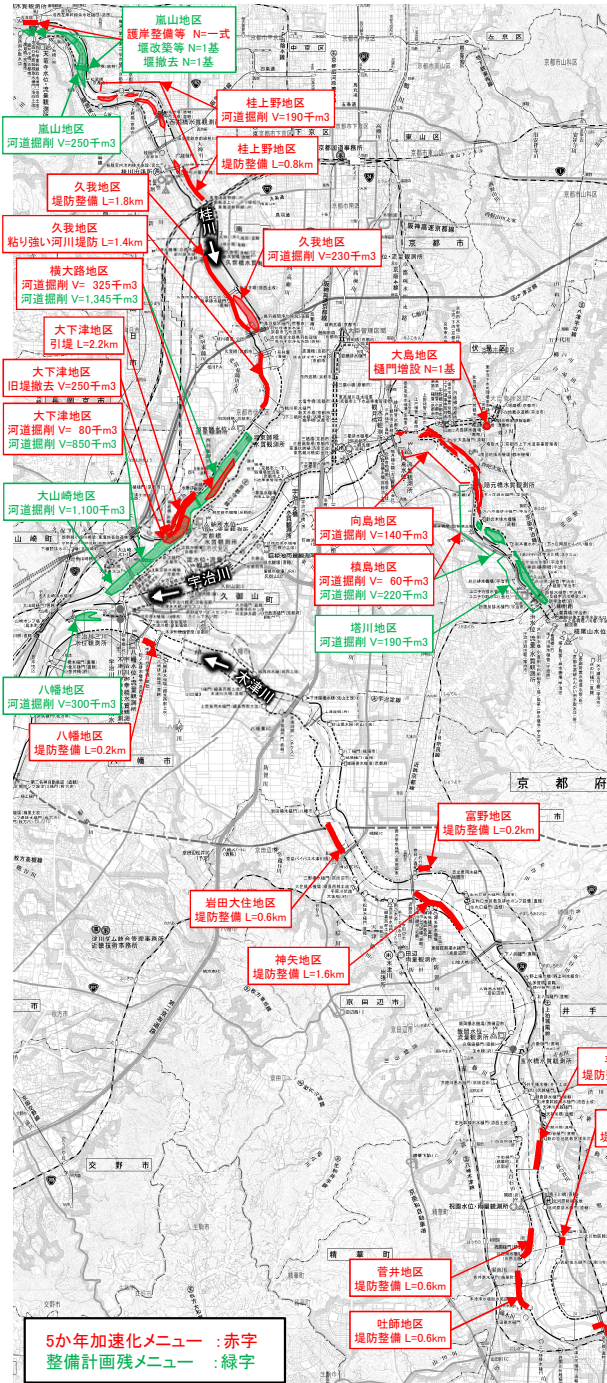
淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【事業効果（国直轄区間）の見える化（案）】

～みず・ひとと共生する古都を支える流域対策の推進～

（案）

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

現状



【宇治川】河道掘削を推進することにより、宇治川の治水安全度の向上。また、大島排水樋門の増設を完了することで、山科川（堂ノ川）木幡地区周辺の浸水被害の軽減を図る。

【桂川】大下津引堤と河道掘削により、近年で危険な水位まで到達した平成16年台風23号規模の洪水を桂川中下流区間で安全に流下させる。

【木津川】木津川全体での堤防強化メニューの完了により、木津川の破堤リスクを軽減。

区分	対応内容	区間	工程		
			短期 (R2~R7)	中期 (R8~R15)	長期 (R16~R34)
関連事業					
河道掘削		宇治川	■	■	■
		桂川	■	■	■
		木津川	■	■	■
堤防整備		桂川	■	■	■
		木津川	■	■	■
樋門増設		宇治川	■	■	■
		山科地区	■	■	■
堰改築等		桂川	■	■	■
		大下津地区	■	■	■
引堤		桂川	■	■	■
		大下津地区	■	■	■
築堤		木津川	■	■	■
		船屋・河原地区	■	■	■

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
 ※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載しています。

短期整備完了時の進捗【宇治川】

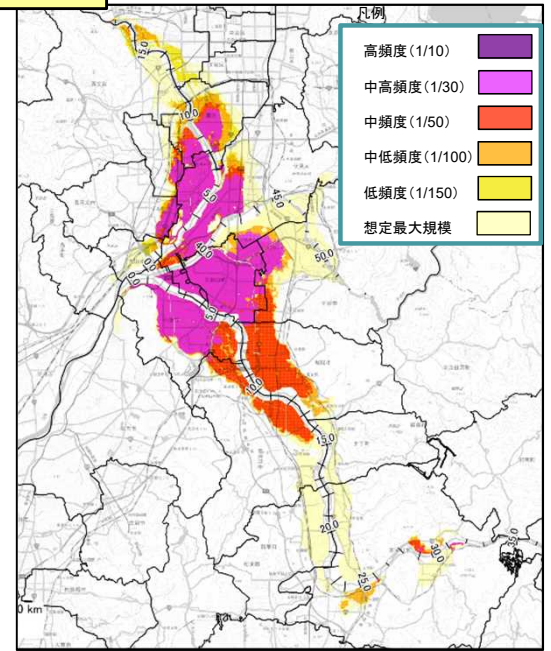
- 河道掘削
- 向島地区 100%
- 横島地区 20%
- 樋門増設
- 大島地区 100%

短期整備完了時の進捗【桂川】

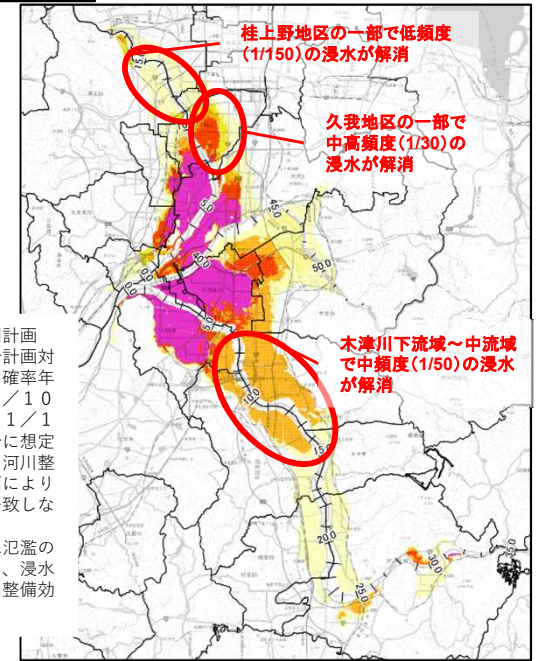
- 河道掘削
- 桂上野地区 100%
- 久我地区 100%
- 横大路地区 20%
- 大下津地区 10%
- 堰改築等
- 嵐山地区 30%
- 引堤、旧堤撤去
- 大下津地区 100%
- 堤防整備
- 桂上野地区 100%
- 久我地区 100%

短期整備完了時の進捗【木津川】

- 堤防整備
- 八幡地区 100%
- 岩田大住地区 100%
- 神矢地区 100%
- 菅井地区 100%
- 吐師地区 100%
- 船屋地区 100%
- 富野地区 100%
- 平尾地区 100%
- 上粕地区 100%



短期



※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10、1/30、1/50、1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合があります。
 ※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

5カ年加速化メニュー：赤字
 整備計画残メニュー：緑字

戦後最大洪水等に対応した河川の整備率（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



43市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



集計中

山地の保水機能向上、土砂・流木災害対策



治山対策の実施箇所 66箇所
（令和3年度実施分）

集計中

立地適正化計画における防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定区域 218河川
（令和3年12月末時点）

内水浸水想定区域 7団体
（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画 洪水 10,934施設
土砂 751施設
（令和3年9月末時点）

集計中

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

遊水機能を有した公園整備計画（亀岡市）



自然共生型の遊水地機能を備えた公園を整備

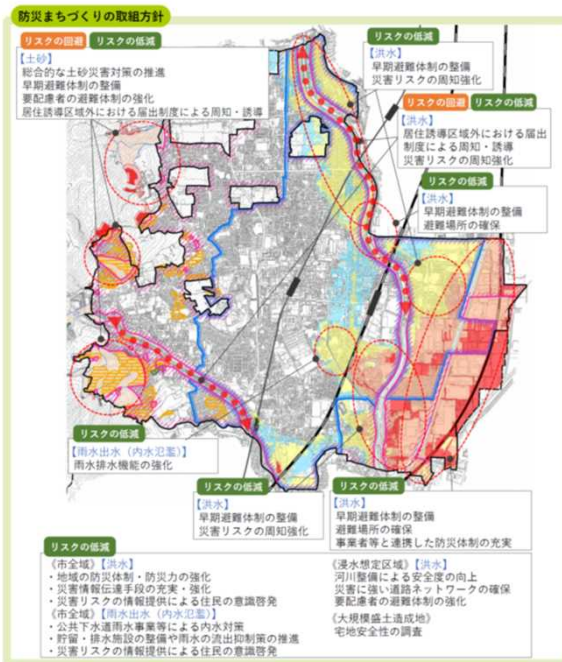
雨水地下貯留施設の整備（京都府）

雨水貯留施設「いろは呑龍トンネル」の整備により、桂川右岸地域の浸水対策を実施する。



被害対象を減少させるための対策

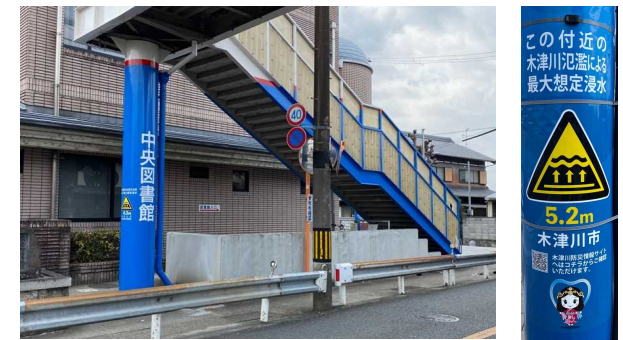
立地適正化計画の見直し（長岡京市）



- ・「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」の見直し
- ・防災指針を追加し、災害リスクを出来る限り回避、低減させるために必要な取り組みを具体的に提示

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

想定浸水深ラッピングによるまるまちHMの高度化（木津川市）



マイ防災マップによる地域防災力の向上（京田辺市）



※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。
※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。